

中間決算の概要

2007年9月中間期

2007年10月



住金物産株式会社

2007年9月中間決算の概要 目次

1. 中間決算のポイント	2
2. 連結損益計算書	3
3. 連結売上高と利益の推移	4
4. 連結セグメント情報	5 ~ 6
5. 連結財政状態	7
6. 連結キャッシュフローの状況	8
7. 中期経営計画 定量目標の状況	9
8. セグメント別業績予想	10
9. 中間期のトピックス	11 ~ 12
10. 諸数値の推移	13

* 本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

1. 2007年9月 中間決算のポイント

中間決算として営業利益・経常利益・当期純利益は6期連続

過去最高益を更新

鉄鋼、繊維、食糧、機械・建設・非鉄金属他で増収・増益を達成

自己資本比率は10.1%から11.3%にアップ

(当期純利益の積み上げなどにより純資産は503億円に)

新たな事業投資

システム建築の共同事業化(株)住金システム建築設立)

焼酎廃液処理事業への進出(住金物産グリーンチーム(株)設立)

航空機用特殊合金販売へ進出(米国アムサ社の買収)

高級テキスタイルの供給拠点確保(株)フジイテックスの設立)

2. 連結損益計算書

(単位：億円)

	07年9月期	06年9月期	増減額	増減率
売上高	6,655	5,734	921	16.1%
売上総利益率	5.5%	5.9%	0.4	
売上総利益	366	339	26	8.0%
販売管理費	257	245	11	4.6%
営業利益率	1.6%	1.6%	0%	
営業利益	109	93	15	16.7%
営業外損益	6	10	4	
経常利益率	1.5%	1.5%	0%	
経常利益	102	82	19	24.0%
特別損益	5	1	3	
法人税等	40	33	6	
当期純利益	56	47	9	20.1%

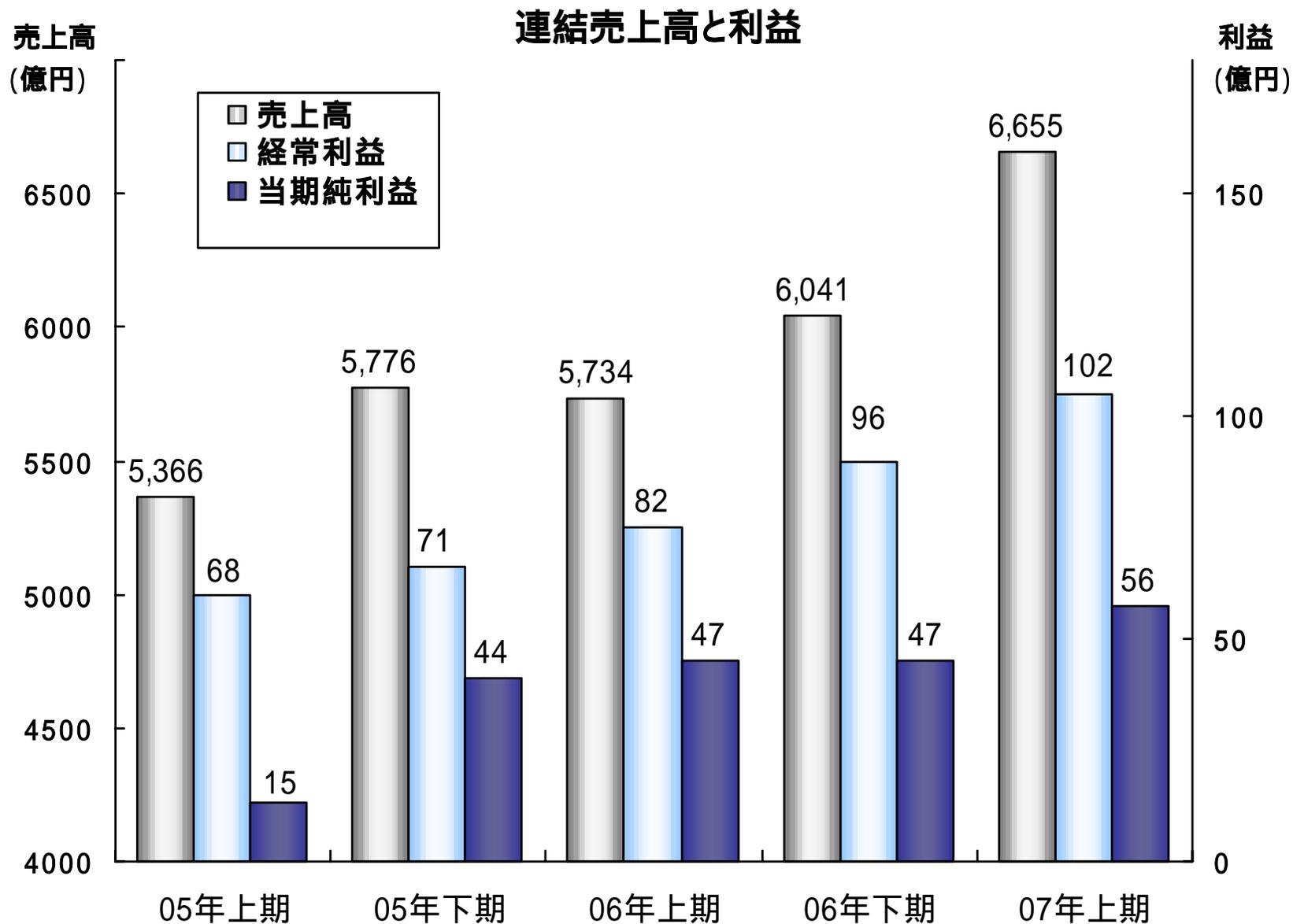
増収増益（営業利益、経常利益・当期純利益は6期連続過去最高を更新）

は中間期での過去最高を示す

従来の中間期の最高額

売上高	2006年9月期	5,734億円
営業利益	2006年9月期	93億円
経常利益	2006年9月期	82億円
当期純利益	2006年9月期	47億円

3. 連結売上高と利益の推移

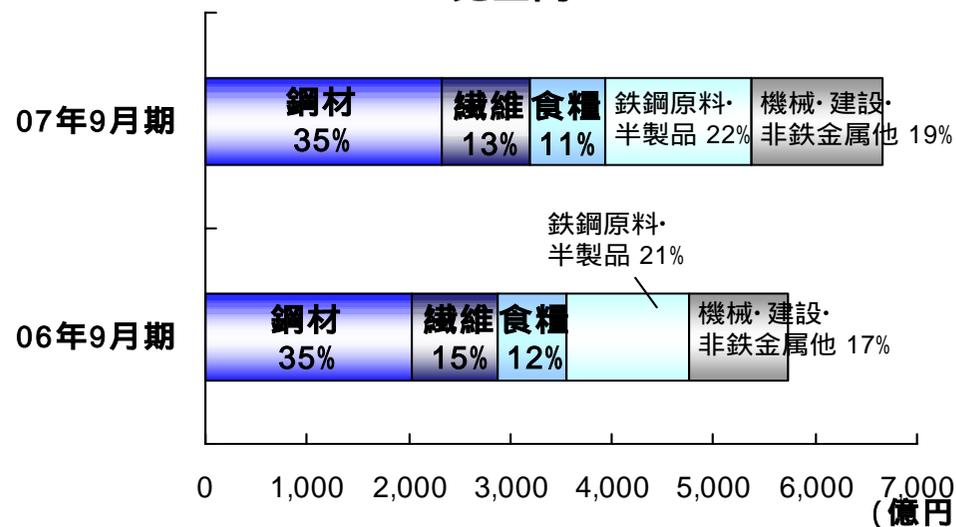


4. 連結セグメント情報

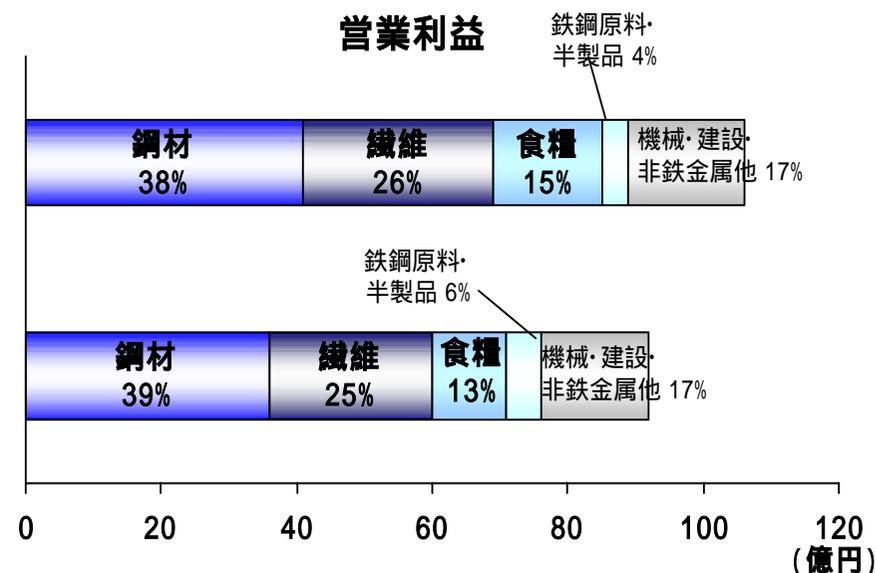
(単位：億円)

	07年9月期		06年9月期		増減額		増減率	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
鋼材部門	2,326	41	2,027	36	298	5	15%	15%
繊維部門	872	28	842	24	29	4	4%	20%
食糧部門	727	16	675	11	52	4	8%	38%
鉄鋼原料・半製品	1,456	4	1,207	5	249	0	21%	8%
機械・建設・非鉄金属他	1,272	17	982	16	290	1	30%	7%
計	6,655	109	5,734	93	921	15	16%	17%

売上高



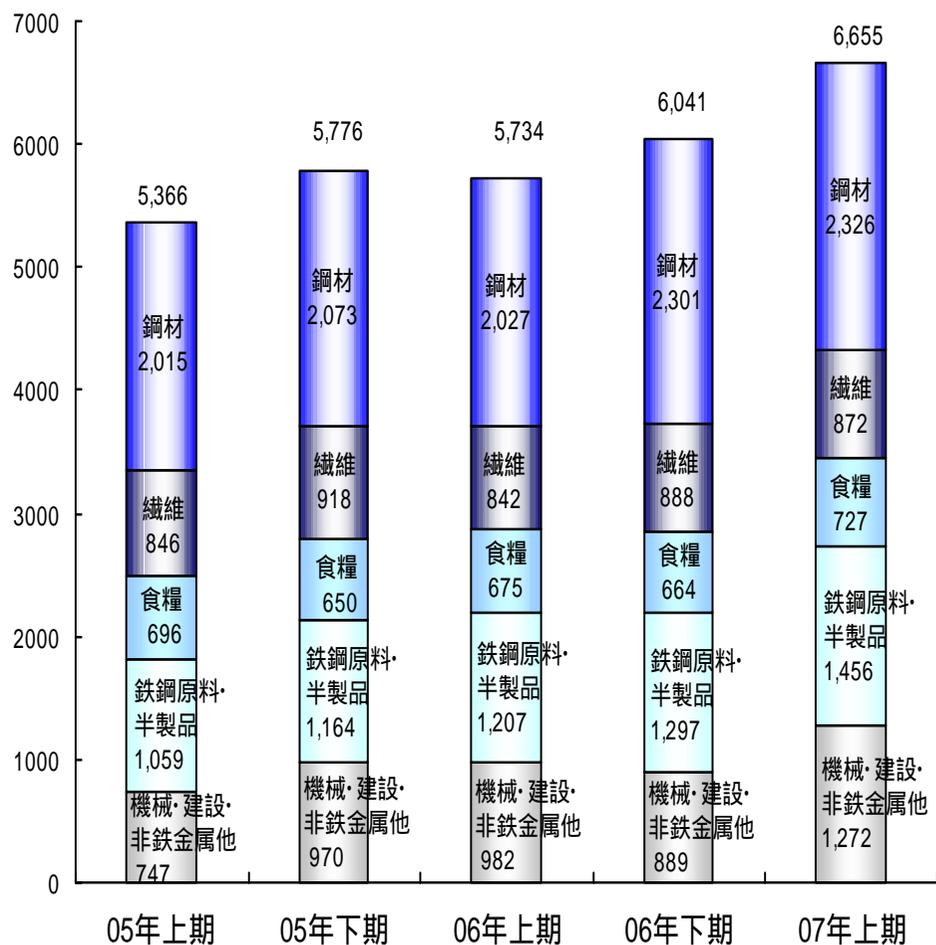
営業利益



4. 連結セグメント情報

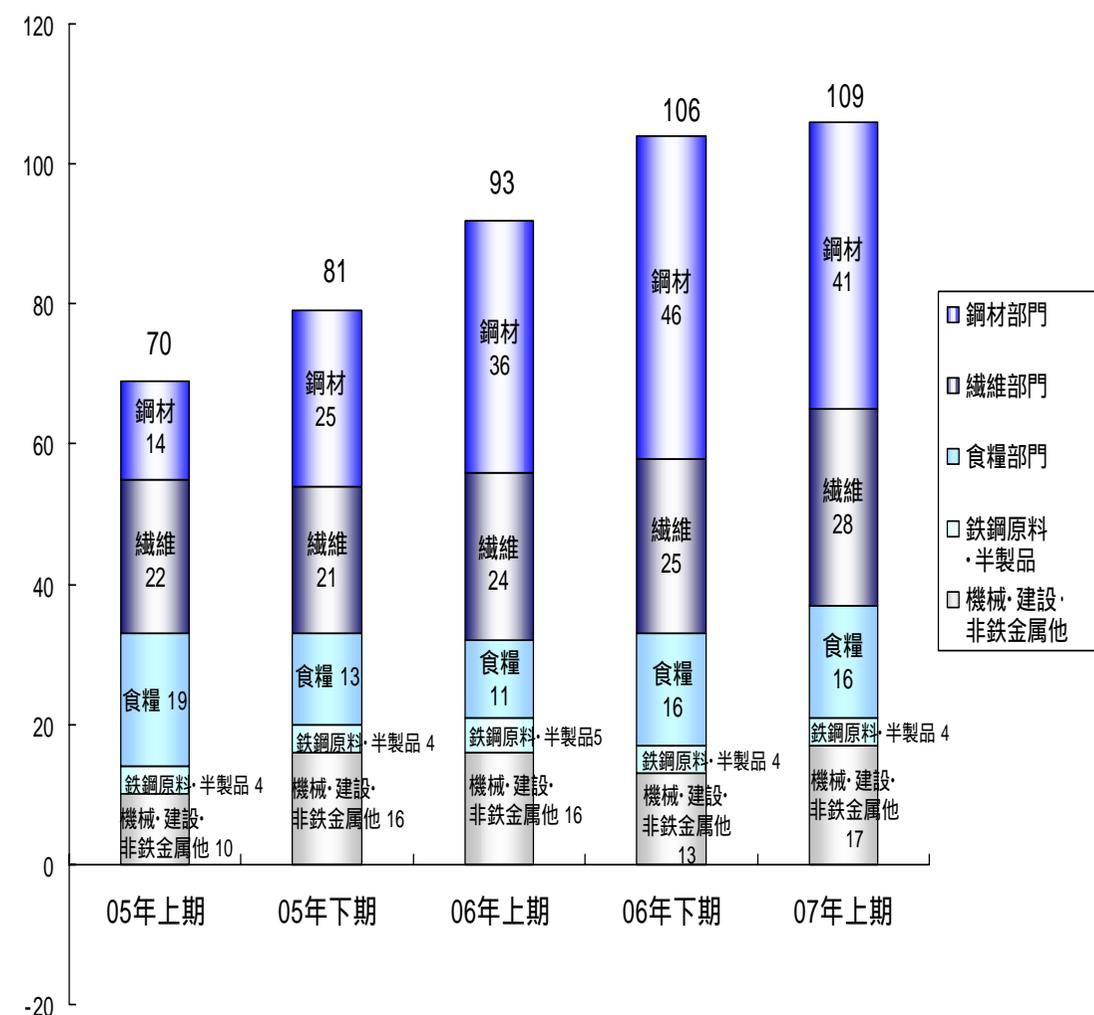
売上高の推移

(億円)



営業利益の推移

(億円)



5. 連結財政状態

(単位：億円)

	07年9月末	07年3月末	増減額	増減率
流動資産	3,673	3,669	3	0.1%
有形・無形固定資産	273	274	1	0.4%
投資その他	351	335	16	4.9%
資産合計	4,298	4,279	19	0.4%
有利子負債	841	842	1	0.2%
その他負債	2,954	2,989	34	1.2%
負債合計	3,795	3,832	36	1.0%
資本金	123	123	-	(注)
資本剰余金	70	70	0	
利益剰余金	220	174	45	
自己株式	1	1	0	
株主資本	412	367	45	
評価・換算差額等	72	63	8	
少数株主持分	18	15	2	
純資産合計	503	447	55	
負債及び純資産合計	4,298	4,279	19	0.4%

注. 株主資本の増減(単位：億円)

当期純利益	+ 56
配当金	9
自己株式他	1
計	+ 45

自己資本比率	11.3%	10.1%	1.2%
NET DER	1.5倍	1.7倍	

自己資本比率11.3%

自己資本(株主資本+評価・換算差額等)は、484億円に。

自己資本比率、NET DER は好転

6. 連結キャッシュフローの状況

(単位：億円)

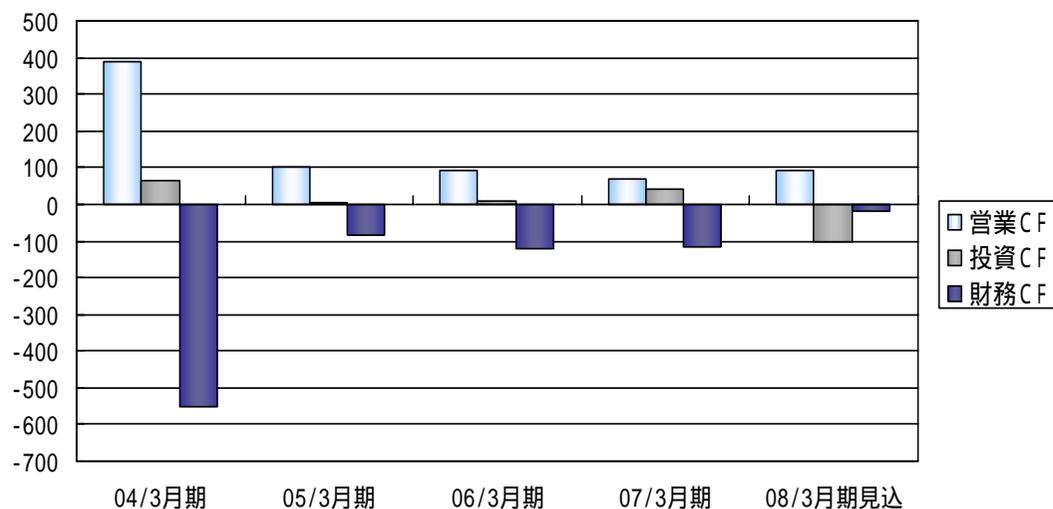
	07年9月中間期	06年9月中間期	増減額
営業活動によるCF	11	68	56
投資活動によるCF	12	23	11
フリーCF	0	44	45
財務活動によるCF	12	35	23
現金及び現金同等物の増減	11	8	20

(参考)

06年度下期 平均月商 1,006億円
07年度上期 平均月商 1,109億円

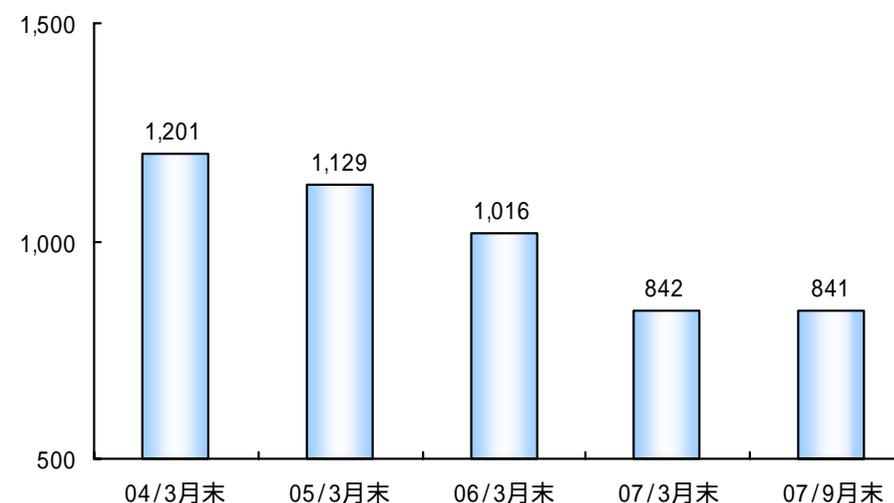
(億円)

過去5年間の連結キャッシュフロー



(億円)

有利子負債残高推移



7. 中期経営計画 定量目標の状況

(億円)

連結財務指標

	2007年中間期 (実績)	2007年度 (予想)	予想に対する 進捗率	2008年度 (計画)
売上高	6,655	13,000	51%	12,100
営業利益	109	205	53%	210
営業利益率	1.6%	1.6%		1.7%
経常利益	102	180	57%	180
当期純利益	56	95	60%	100
総資産	4,298	4,200		4,000
自己資本	484	500		450
有利子負債	841	840		750
自己資本比率 (*1)	11.3%	12%程度		10%超
NET DER (*2)	1.5倍	1.5倍程度		1.5倍程度
ROA (*3)	5.1%	4.8%程度		5%超
海外売上高比率	9.0%	9.5%程度		10%程度

(*1) 自己資本比率 = 自己資本 ÷ 総資産

(*2) NET DER = (有利子負債 - 現預金) ÷ 自己資本

(*3) ROA = 営業利益 ÷ 総資産、中間期は年率換算

8. セグメント別業績予想

セグメント別売上高・営業利益(営業利益率)

(億円)

	2007年中間期(実績)			2007年度(予想)			予想に対する進捗率	
	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益
鋼材	2,326	41	1.8%	4,750	87	1.8%	49%	48%
繊維	872	28	3.3%	1,780	52	2.9%	49%	56%
食糧	727	16	2.3%	1,410	31	2.2%	52%	53%
鉄鋼原料 ・半製品	1,456	4	0.3%	2,900	8	0.3%	50%	61%
機械・建設 非鉄金属他	1,272	17	1.4%	2,160	27	1.3%	59%	64%
合計	6,655	109	1.6%	13,000	205	1.6%	51%	53%

9. 2007年9月中間期のトピックス

鉄鋼カンパニー

1) 住金システム建築の設立

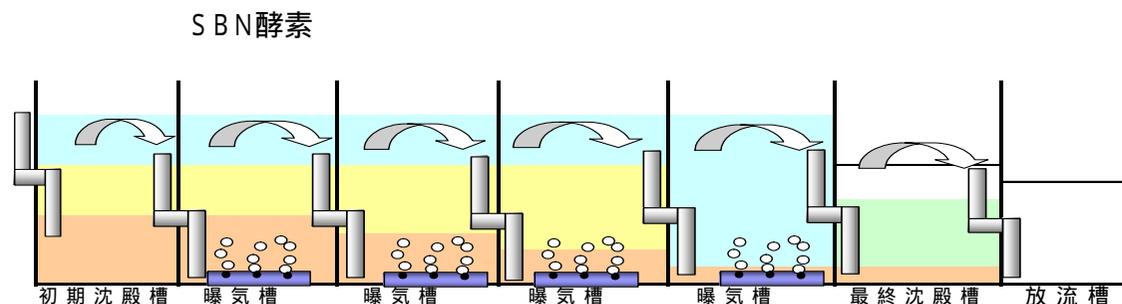
システム建築とは、建築部材を標準化することにより生産プロセスをシステム化したものです。
在来工法に比べ工期が大幅に短縮できることに加え、低価格で高品質の商品を実現しました。
施主、ゼネコン等の顧客から高い評価をいただき受注量は増加しています。

システム建築



2) 新規環境ビジネス(焼酎廃液処理事業)に進出(住金物産グリーンチーム㈱の設立)

当社は、(株)美創技研と「焼酎廃液処理システム」を開発、鹿児島大学による水質試験を経て事業化に成功いたしました。
専用の酵素(SBN酵素)を活用し、悪臭の発生を抑え、処理水は放流基準を大幅にクリアし、固形分は乾燥後飼料として再利用することも可能となるものです。
将来的には、このノウハウを活用し、他の食品廃液、排水処理も手掛け、水質汚濁等の環境汚染防止に役立つ事業を推進します。



連続回分式処理層

9. 2007年9月中間期のトピックス

機械・金属カンパニー

米国での航空機用特殊合金販売へ進出

米国の現地法人において今後も需要拡大が見込まれる航空機関連産業向けの特殊合金素材販売に参入するため、本年8月に米国のエアロスペース・メタルズ・アンド・スペシャリティー・アロイズ・インク(アムサ社)の事業を買収いたしました。アムサ社は、カリフォルニア州に本拠を置く加工・販売会社で、航空機産業において品質管理等に関する幅広いノウハウを有しており、この高い専門性を生かし事業拡大を図ります。

繊維カンパニー



株式会社フジテックスの設立

本年5月に(株)フジテックスを設立し、(株)フジコーポレーションの毛織物、ニット生地などの製造加工販売事業を譲り受けました。当社のOEM(相手先ブランドによる生産)事業の強化のため、テキスタイル技術とノウハウを継承し、高級婦人重衣料の拡大を目指してまいります。

食糧カンパニー

加工食品分野の強化

当社が注力する加工食品分野を強化するため、本年10月に加工食品部を発足させました。鶏肉加工品に加え、ポークや農水産加工品の取り扱い拡大を図ってまいります。

10 . 諸数値の推移

連結

(単位：億円)

	04年3月期	05年3月期	06年3月期	07年3月期
売上高	8,926	10,298	11,142	11,776
営業利益	102	153	152	199
経常利益	80	131	140	179
当期純利益	26	38	60	94

07年9月期
6,655
109
102
56

08年3月通期予想
13,000
205
180
95

単体

	04年3月期	05年3月期	06年3月期	07年3月期
売上高	8,062	9,306	9,953	10,411
営業利益	78	105	102	150
経常利益	63	93	103	141
当期純利益	17	18	12	79

07年9月期
5,927
80
76
39

08年3月通期予想
11,500
153
135
75

1株配当金	通期3円	通期4円	通期6円	通期10円
	(復配)	(中間1.5円)	(中間2円)	うち記念配2円 (中間4円)

中間5円

期末5円
通期10円